

経営関連学会協議会
2012年度第3回理事会 議事録

日 時：2012年12月1日（土）12:00～14:30

場 所：愛知大学東京事務所（TEL 03-3501-6405）

霞ヶ関コモンゲート西館 37 階（東京都千代田区霞ヶ関 3-2-1）

出席者：野々山隆幸，平野文彦，西田安慶，石川昭，奥林康司，風間信隆，亀川雅人，
高橋誠，星野靖雄，橋本雅隆，友杉芳正，岩波文孝，氏原茂樹，梅田勝利

開会后，西田副理事長より議長指名について発案があり，野々山理事長がこれを務めることとなった。その後，野々山議長から挨拶があり，前回の理事会の議事録確認が行われた。

【協 議 事 項】

1. 事務局体制の強化

- (1) 西田副理事長より補充人事（第3期役員体制の変更点）について説明があった。協議の結果，岩波文孝幹事の就任が承認された。
- (2) 西田副理事長より構成学会のメールアドレスのリストが不完全で，事務局・評議員の変更が頻繁にあることなどから諸連絡が遅くなったとの発言があった。これについて星野理事から，構成学会事務局から評議員を把握できたのが12学会程度であり，60学会すべてについて未だ把握できていないとの発言があった。その結果として，HPが不完全となっているとの発言があった。奥林理事より評議員について能勢前理事から評議員リストを星野理事へ送付してもらうよう手配するとのことであった。

星野理事からHP作成については，事務局委託について4社の見積もりを取ったが，他によいところがあれば教えてほしいとの発言があった。これについて平野副理事長から「外部委託は高価で，面倒ではないか」，風間理事から「カンパンのようなところはないか」との発言があった。この発言を受けて高橋理事からカンパンについての説明があり，カンパンの三井田氏に従来通り依頼できるのではないかと発言があり，高橋理事から三井田氏に問い合わせをすることとなった。

2. 職務分担（理事等，評議員，学会事務局名簿の整備等）

西田副理事長より職務分担の現状について説明があった。現状改善に関する議論の結果，次の2点が了承された。

- (1) 本協議会を有効に運営するため，ガバナンス検討委員会は菊谷副理事長，平野副理事長，奥林理事の3人で運営・協議すること。
- (2) 出版事業については，平野副理事長が出版責任者となり，風間理事とともに進めることとなった。

なお，西田副理事長から「中身のあることをしないと脱退する学会がでてくる」，平野副理事長から「協議会の価値を高める必要がある」との発言があった。

3. 全構成学会の会員を対象としたアンケートの実施

高橋理事より2013年度企画（案）として構成学会員に対してアンケートをしてはどうかとの提案があった。西田副理事長から「年間予算180万円のうち，70万円を使う企画であるため，慎重にお願いしたい」，平野副理事長「アンケート実施の必要性はどうか」，風間

理事「協議会の役割とは何か」などの意見があり、その結果、次回、企画担当者がアンケートの項目を詰めて改めて提案することとなった。アンケート自体は実施することとなった。

4. オンライン ジャーナルについて

星野理事より海外においては月 2 回のペースで公表されているが、日本発のものがないので日本発のものを実施したいとの提案があった。風間理事「各学会 abstract 集を出す」、亀川理事「各学会の代表作を翻訳して集め、本にする」などの発言があった。その結果、次回、担当者が具体案を改めて提案することとなった。

【報告事項】

1. 第 4 回理事会 2013 年 3 月 10 日（日）10 時～12 時

第 4 回理事会が 3 月 10 日（日）明治大学駿河台研究棟 4 階第 3 会議室に変更となったことが確認された。

2. 第 2 回評議員会 2013 年 3 月 10 日（日）13 時～13 時 50 分

第 2 回評議員会が 3 月 10 日（日）明治大学リパティタワー 2 階 1022 教室に変更となったことが確認された。

3. シンポジウムの企画について

- ・テーマ「経営学に何を期待するか」

- ・日時 2013 年 3 月 10 日（日）14 時～17 時 30 分

高橋理事よりスケジュールについて説明があった。全体司会、開会の辞、閉会の辞の担当者についても説明があった。日本経済新聞の後援を依頼したいとのことであった。

4. ホームページの開設について

星野理事より過去の決算資料を風間理事から星野理事へ送付することとなった。ニューズレター担当者には星野理事から連絡することとなった。

5. 予算の執行状況について

西田副理事長より予算の執行状況について説明があった。

6. 出版事業について

平野副理事長より出版事業についてはなかなか進んでいないとの報告があった。

7. 参照基準について

奥林理事より参照基準公表までの経緯について説明があった。